

JILPT 調査シリーズ

No.149

2016年4月

# 中高年齢者の転職・再就職調査

The Japan Institute  
for  
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



# 中高年齢者の転職・再就職調査

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

## まえがき

我が国の人口は、平成 20 年をピークに減少しており、今後も減少が見込まれている。このような人口減少社会の中で社会の活力を維持し、持続的な成長を実現していくためには、高年齢者や女性が活躍できる機会を確保し、その能力が十分に活かせるようにすることが不可欠である。特に、人口の高齢化の進行を踏まえると、多様な形態で高年齢者の雇用・就業を促進していくことが重要である。

既に、平成 24 年に、高年齢者雇用安定法が改正され、企業における希望者全員の 65 歳までの雇用確保措置の制度化が図られたところである。一方、団塊の世代は平成 24 年から 65 歳に到達しはじめ、すでに多くの人企業が企業における継続雇用の終了を迎えている。大きなボリュームのある高年齢者層が既にセカンドライフの段階に入ってきている中で、今後、65 歳以降においても、働く意欲のある高年齢者が、年齢にかかわらずその能力や経験を活かして生涯現役で活躍し続けられる社会環境を整えていく必要がある。

これまでの高年齢者雇用対策は、企業における 65 歳までの継続雇用を基本として実施されてきたところであるが、高年齢者の中には中高年齢の時代に転職・再就職を経ている者も多くおり、その影響を調査し、今後の高年齢者雇用対策に活かしていくことは重要である。

このような問題意識の下、今般、中高年齢者の転職・再就職の実態把握に関する調査を実施し、そのとりまとめを行ったところである。

本書が、企業経営者、労働者、政策担当者をはじめ、高齢者の雇用・就業問題に関心のある方々に活用され、些かでも今後の高年齢者の就労促進に資することがあれば幸いである。

2016 年 4 月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 菅野和夫

## 中高年齢者の転職・再就職調査 担当者

氏名	所属	担当
田原孝明	労働政策研究・研修機構 統括研究員	第1章
鎌倉哲史	労働政策研究・研修機構 アシスタント・フェロー	第2～5章

※ 本調査シリーズの調査票の作成、データ収集、渉外、付属統計表の作成にあたっては浅尾裕労働政策研究・研修機構特任研究員、遠藤彰労働政策研究・研修機構前主任調査員補佐、奥田栄二労働政策研究・研修機構主任調査員補佐の協力を得た。

## 目 次

第1章 調査の趣旨、実施方法等	1
1 本調査の趣旨・目的	1
2 調査名	1
3 実施方法	1
4 回収状況等	3
第2章 調査結果の概要	4
1 回答者の現在の生活・就業・勤務状況	4
(1) 現在最も時間を費やしている活動	4
(2) 就業率・雇用者の割合	5
(3) 勤め先の企業規模	5
(4) 雇用形態	6
(5) 仕事の種類	7
(6) 業種	8
(7) 1ヶ月あたりの勤務日数	9
(8) 1日あたりの労働時間	10
(9) 月の賃金額	11
2 これまでの転職・再就職の経験とその詳細	12
(1) 転職・再就職経験の有無	12
(2) 直近で転職・再就職した年代	13
(3) 直近の勤め先を辞めた理由	14
(4) 現在の勤め先を選んだ理由	15
(5) 現在の勤め先に勤務するようになった経緯	17
(6) 転職・再就職の際に利用した機関・サービス	18
(7) 転職・再就職の際の前事業主からの支援制度活用状況	19
(8) 転職・再就職に要した求職期間	20
(9) 転職・再就職に要した費用	23
(10) 転職・再就職前後の企業規模	24
(11) 転職・再就職前後の雇用形態	26
(12) 転職・再就職前後の仕事の種類	29
(13) 転職・再就職前後の業種	33
(14) 転職・再就職前後の1ヶ月の勤務日数	37
(15) 転職・再就職前後の1日の労働時間	39

(16)	転職・再就職前後の月の賃金額	42
(17)	転職・再就職の結果への満足度	44
(18)	転職・再就職を希望した経験のある転職・再就職未経験者の、転職・再就職をしなかった理由	45
3	現在就業中の人の今後の転職・再就職の希望とその内容	46
(1)	現在の仕事の継続意思	46
(2)	転職希望者の転職を希望する理由	47
(3)	今後、転職・再就職するとしたら何歳まで雇用されたいか	48
(4)	今後、転職・再就職するとしたら利用したい機関・サービス	50
(5)	今後、転職・再就職するとしたら希望する雇用形態	51
(6)	今後、転職・再就職するとしたら希望する仕事の種類	52
(7)	今後、転職・再就職するとしたら希望する業種	53
(8)	今後、転職・再就職するとしたら希望する1ヶ月あたりの勤務日数	54
(9)	今後、転職・再就職するとしたら希望する1日あたりの労働時間	55
(10)	今後、転職・再就職するとしたら希望する月の賃金額	56
(11)	65歳を超えて長く働くための転職・再就職において、適当な年齢	57
(12)	転職・再就職するにあたっての障害	57
(13)	転職・再就職するにあたって有効・必要と思われる措置	58
(14)	転職・再就職するにあたって有効・必要と思われる能力開発の詳細	59
4	労働者派遣事業・シルバー人材センターの利用経験および利用していない理由	60
(1)	労働者派遣事業を利用した派遣社員の経験の有無と利用していない理由	60
(2)	シルバー人材センターの会員状況および利用していない理由	62
(3)	シルバー人材センターに対して感じる問題点・改善点	63
第3章 転職経験者におけるその後の状況と転職満足度の規定要因		65
1	転職前、転職直後、現在の3点比較	65
(1)	勤め先の企業規模の2点比較	66
(2)	雇用形態の3点比較	68
(3)	仕事の種類の3点比較	70
(4)	月の勤務日数の3点比較	74
(5)	1日の労働時間の3点比較	76
(6)	月の賃金額の3点比較	78
(7)	月の平均時給の3点比較	80
2	転職経験の有無と直近の転職時期ごとの現在65歳以上の人の就業率・雇用率	84
(1)	65歳以上の男性の就業率・雇用率	84

(2) 65歳以上の女性の就業率・雇用率	85
3 転職に対する満足度を説明（予測）可能な要因の検討	86
(1) 投入する説明変数	87
(2) 直近の転職年齢が45～54歳の回答者の転職満足度の説明要因	89
(3) 直近の転職年齢が55～59歳の回答者の転職満足度の説明要因	91
(4) 直近の転職年齢が60歳以上の回答者の転職満足度の説明要因	93
第4章 自身の就業・生活、または高齢期の就業・生活に関する政府の政策について	
感じていること	95
1 本章の概要と留意点	95
2 言及者数が多い名詞・複合語 上位100語	96
3 頻出する名詞・複合語への言及事例	97
(1) 「年金」言及者の事例	97
(2) 「定年」言及者の事例	98
(3) 「不安」言及者の事例	99
(4) 「元気」「健康」言及者の事例	100
(5) 「介護」言及者の事例	101
(6) 「能力」「経験」言及者の事例	102
(7) 「若者」言及者の事例	103
(8) 「シルバー人材」言及者の事例	104
(9) 「ハローワーク」言及者の事例	105
(10) 非抽選対象群における事例	106
4 本章のまとめ	107
第5章 主要な調査結果と今後の課題	108
1 中高年齢層における転職の基本的な状況	108
2 中高年齢における転職の前後での労働環境・待遇の変化	108
3 中高年齢者の今後の転職に関する希望・要望	109
4 中高年齢における転職結果への満足度を規定する要因	109
5 自身の高齢期の就業・生活、および政府の政策に関して回答者が関心を寄せているトピック	110
6 今後の課題	110
調査票	111
付属統計表1（個人属性）	123

付属統計表 2 (表側：調査時点で就業者／就業先企業属性) .....	189
-------------------------------------	-----